



中央アルプス
国定公園

CHUO ALPS
NATIONAL PARK

指定記念

第20回 ライチョウ会議

長野県 駒ヶ根・宮田大会

～中央アルプスのライチョウ復活を目指して～

- 会期：2022年10月9日-11日
- 会場：駒ヶ根市文化会館・中央アルプス木曾駒ヶ岳周辺



報告書

報告書

第20回 ライチョウ会議報告書

目次

長野県駒ヶ根・宮田大会の開催にあたって 5
大会風景 6
会議録

1日目

公開シンポジウム

「ライチョウを通して中央アルプスの自然を学ぼう」 8

記念講演

「ライチョウってどんな鳥？」 10

小林 篤(環境省信越自然環境事務所生息地保護連携専門官)

「集団登山の灯を消さないで」 20

伊藤 一幸(元神戸大学教授・宮田村教育委員)

「中央アルプスにおけるライチョウ保護増殖事業の成果と展望」 28

小林 篤(環境省信越自然環境事務所生息地保護連携専門官)

ディスカッション 40

小林 篤(環境省信越自然環境事務所生息地保護連携専門官)

伊藤 一幸(元神戸大学教授・宮田村教育委員)

コーディネーター 中村 浩志(大会実行委員長・一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所)

2日目

専門家会議

第1部 ライチョウの生息現地での取り組み 44

有山 義昭(環境省信越自然環境事務所)

「立山のライチョウの現状と、その多様な生息環境」 45

松田 勉(富山雷鳥研究会)

「最南限繁殖地の二ホンライチョウ *Lagopus muta japonica* なわばり雄の季節移動」 . . . 49

朝倉 俊治(静岡ライチョウ研究会)

堀田 昌伸(長野県環境保全研究所)

近藤多美子(静岡ライチョウ研究会)

「2020年乗鞍岳から中央アルプス駒ヶ岳に空輸した3家族計19羽の

その後の生存状況と繁殖地への分散と定着」 52

中村 浩志(一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所)

「ライチョウ・ハイポーターとして支えた人々」 60

仁田 晃司(環境省中部山岳国立公園管理事務所)

「ライチョウへの被害防止を目的とした中央アルプス駒ヶ岳高山帯における

二ホンザルの追い払いの試み」 62

杉本 淳(株式会社公害技術センター環境部建設コンサルタント課長)

クラウドファンディングによる長野県のライチョウ保護活動の紹介」 68

峰村 政輝(長野県自然保護課)

「中央アルプスにおける山岳信仰について」 71

小池 勝典(宮田村教育委員会文化財担当係長)

質疑応答 77



第2部 動物園で飼育し増やす生息域外保全の取り組み	78
牛田 一成(中部大学応用生物学部)	
「ライチョウ生息域外保全の取り組み成果と今後の課題について」	78
. 秋葉 由紀((公社)日本動物園水族館協会ライチョウ計画管理者・富山市ファミリーパーク)	
「那須どうぶつ王国におけるライチョウ野生復帰までの取り組みについて」	83
荒川 友紀(那須どうぶつ王国)	
「中央アルプスの野生下ライチョウの受け入れと繁殖について」	91
田村 直也((公社)日本動物園水族館協会ライチョウ専門技術員・長野市茶臼山動物園)	
「ライチョウにおける人工繁殖補助技術の最前線」	98
吉澤 円((公社)東京動物園協会・東京都恩賜上野動物園飼育展示課動物病院係)	
第3部 大学等の研究機関での取り組み	104
中村 浩志(一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所)	
「ライチョウの盲腸の働きー高山植物を栄養にする仕組み」	104
牛田 一成(中部大学応用生物学部)	
「ライチョウの乳酸菌ー生息環境を反映する腸内細菌」	107
土田さやか(中部大学応用生物学部講師)	
「動物園のライチョウの産卵に影響する母鳥の生理と環境」	110
金原 弘武(岐阜大学応用生物科学部)	
小野ゆきな(岐阜大学応用生物科学部)	
楠田 哲士(岐阜大学応用生物科学部)	
「ライチョウから教えらるる栄養と教えてもらう方法」	115
太田 能之(日本獣医生命科学大学応用生命科学部)	
「ニホンライチョウに寄生するアイメリア原虫の生態と病原性」	122
松林 誠(大阪公立大学大学院獣医学専攻)	
大会総括と謝辞	127
中村 浩志(大会実行委員長・一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所)	
参考資料	129